

スライド 1

伝統、祭りによる町づくり



これから、伝統・祭りによる町作りについて発表します。

目次

- 1, 小泉の問題
- 2, 事例①
- 3, 事例②
- 4, 提案

問題、事例、提案という順番で紹介を進めます。

小泉の問題

- 人々のつながりが少ない
- 祭りやイベントが少ない
- 伝統を受けつぐ人が少なくなっている

まずは、小泉の問題についてです。1、人々のつながりが少ない。 2、祭りやイベントが少ない。 3、伝統を受けつぐ人が少なくなっている。この問題からどうしたら小泉がもっと豊かになるのか考えてみました。

①東北絆まつり

主な内容

- ・東北絆まつりパレード
『東北の県庁所在地6市の夏祭りによるパレード
出演者約1150人』
- ・一番町商店街流し踊り
『仙台すずめ踊り、盛岡
さんさ踊り、山形花笠踊り
による流し踊り』



①東北絆まつり

東北絆祭りは主に東北絆まつりパレード『東北の県庁所在地6市の夏祭りによるパレード』一番町商店街流し踊り『仙台すずめ踊り、盛岡さんさ踊り、山形花笠踊りによる流し踊り』などをします。

②川越祭り

370年の時代をこえて、江戸「天下祭」の様式を今に伝える都市祭礼です。川越まつり最大のみどころは「曳っかわせ(ひっかわせ)」。向かい合う数台の山車が、囃子(笛、太鼓、鉦、踊り)で競演し、まつり人たちは提灯を高々と振り上げ、歓声を上げます。とくに夜の「曳っかわせ」は最高潮の盛り上がりを見せます。歴史的・文化的遺産が数多く残っていることで、若い世代も伝統を身近に感じることができ、上の世代ともつながりを持ちながら暮らせる街でもあるのです。



②川越祭り

370年の時代をこえて、江戸「天下祭」の様式を今に伝える都市祭礼です。川越まつり最大のみどころは「曳っかわせ(ひっかわせ)」。向かい合う数台の山車が、囃子で競演し、まつり人たちはちょうちんを高々と振り上げ、歓声を上げます。とくに夜の「曳っかわせ」は最高潮の盛り上がりを見せます。歴史的・文化的遺産が数多く残っていることで、若い世代も伝統を身近に感じることができ、上の世代ともつながりを持ちながら暮らせる街でもあるのです。

提案

小泉夏祭り

場所:小泉海水浴場

- ・打ち上げ花火
- ・浜太鼓の披露、体験
- ・ステージ(ダンス・歌・劇など)
- ・海上アスレチック
- ・写真スポット



私は、小泉夏祭りを開きたいとおもいます。

そして場所は小泉といたら海なので小泉海水浴場でやると思います。浜太鼓の披露では、披露することによってお客さんに楽しんでもらえ、太鼓の体験では実際にやることで小泉の伝統を知ってもらえます。海上アスレチックは子供などが楽しくべます。遊んでいるうちに友達になるかもしれません。写真スポットでは思い出を残したり、SNSなどに写真をあげたりすることによって小泉の魅力がたくさんの人に伝わると思います。ステージや打ち上げ花火はお客さんに楽しんでもらえます。このようなお祭りをするによって小泉に人と人のつながりが生まれ、観光客も増えると思います。